

〈成城学園〉 砦移転 100 周年事業 「これからもまちとともに」

成城大学卒業生 合田 貴将氏（林 翔太役）主演

映画『息子と呼ぶ日まで』 上映会&トークイベントを開催

～今を生きる人々が「ありのままの自分で、自分らしく生きられる」そんな社会を目指して～

日 時：2025 年 12 月 13 日（土）14：00～ 場 所：成城大学 007 教室

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：宮島 和美）は、2025 年、現在の地・成城に移転してから 100 周年を迎えました。節目の年にあたり、学園の施設を活用した様々な記念事業「成城学園砦移転 100 周年事業 -これからもまちとともに-」を展開しています。その一環として、2025 年 12 月 13 日（土）に成城大学卒業生である合田 貴将（ごうだ たかゆき）氏主演の映画『息子と呼ぶ日まで』の上映会を開催いたします。

本作は、生まれた時に割り振られた性別に違和感を抱く男性主人公が、現代社会に渦巻く差別や偏見と葛藤しながらも、家族の絆を模索する姿を描いたヒューマンドラマです。トランスジェンダーの日常の一端を繊細に映し出した物語として注目を集めています。

当日は、脚本・監督を務めた株式会社 BAMIRI の黒川 鮎美（くろかわ あゆみ）氏と、主演の合田 貴将氏をお迎えし、トークイベントを実施いたします。また、事前・当日に寄せられた質問をもとにした質疑応答の時間も設ける予定です。

これまで成城学園では、ジェンダーや多様性に関する学びを深める取り組みを継続してまいりました。2022 年には、手話講師で「手話フレンズ代表」のモンキー高野氏、手話通訳の高島由美子氏を講師にお迎えし、LGBTQ をテーマとした講演会を開催しました。2025 年 3 月は初等学校教員対象の講演会の実施や、成城大学においても講義や研究活動を通じてジェンダー平等への理解を推進しております。2023 年「スポーツとジェンダー平等国際研究センター」を設立するなど、幅広い取り組みを行っています。

◇『息子と呼ぶ日まで』映画上映とトークイベント 概要 ◇

【日 時】：2025 年 12 月 13 日（土）14：00～15：30（開場 13：30）

【場 所】：成城大学 007 教室

【入 場 料】：無料・自由席

【プログラム】：14：00 ご挨拶

14：05 『息子と呼ぶ日まで』映画上映

14：30 映画制作への想い

14：45 パネルディスカッション

（大学生や高校生など 3 名ほどと登壇者のクロストーク）

<ファシリテーター>

レインボーノッツ合同会社 五十嵐ゆり 氏

15：10 観客からの Q&A（会場での挙手制）

15：30 終了

【予 約】：予約制

【申し込み方法】：予約専用ページからお申込みください。右図の QR コードをご利用ください。

【ア ク セ ス】：小田急線成城学園前駅中央改札北口徒歩 4 分

(<https://www.seijo.ac.jp/access/>)

【お問い合わせ】：成城学園 企画広報部 2nd-project@seijo.jp



成城学園 砦移転100周年事業「これからもまちとともに」

『息子と呼ぶ日まで』
映画上映会&トークイベント

日 時：12/13(土) 14:00～15:30 (開場 13:30)
会場：成城大学007教室 (7号館4階)

生まれた時に割り振られた性別に違和感を抱く男性主人公が、現代社会に渦巻く差別や偏見と葛藤しながらも、家族の絆を模索する姿を描いたヒューマンドラマです。トランスジェンダーの日常の一端を繊細に映し出した物語として注目を集めています。

出演者：合田 貴将氏 黒川 鮎美氏

合田 貴将氏：2005年成城大学卒業。映画『息子と呼ぶ日まで』で主演。トランスジェンダーの日常を描いた本作は、自身の経験をもとに制作された。監督・脚本を務めた黒川 鮎美氏と、主演の合田 貴将氏をお迎えし、事前・当日に寄せられた質問をもとにした質疑応答の時間も設ける予定です。

黒川 鮎美氏：2005年成城大学卒業。映画『息子と呼ぶ日まで』で監督・脚本を務めた。トランスジェンダーの日常を描いた本作は、自身の経験をもとに制作された。監督・脚本を務めた黒川 鮎美氏と、主演の合田 貴将氏をお迎えし、事前・当日に寄せられた質問をもとにした質疑応答の時間も設ける予定です。

ファシリテーター：レインボーノッツ合同会社 五十嵐 ゆり 氏

● プログラム
14：00 ご挨拶
14：05 『息子と呼ぶ日まで』 上映
14：30 映画制作への想い
14：45 パネルディスカッション
15：10 観客からの Q&A
15：30 質疑応答

● イベント参加について
参加をご希望の方は、以下のイベントページの参加フォームよりお申込みください。
※ 参加費無料。
※ 参加人数は定員です。

<https://www.seijo.ac.jp/2nd-project/2025/son/>

お問い合わせ：成城学園 企画広報部 2nd-project@seijo.jp



『息子と呼ぶ日まで』STORY

不動産屋で働くトランスジェンダー男性の翔太は、カミングアウトをきっかけに田舎に住む父親と疎遠になっていた。社会で生きていく中で感じる偏見と違和感に悩み、家族との関係の中で葛藤を抱えながらも、パートナーの絵美とともに自分らしい生き方を見つけていく。

自分らしさとはー

生まれた時に割り振られた性別に違和感を持つトランスジェンダー男性の主人公が現代社会に渦巻く差別と偏見の中で葛藤する姿を通じて家族の絆を描いたヒューマンドラマ。トランスジェンダーのほんの少しの日常を描いた物語。監督は俳優としても活動している黒川 鮎美。国内外で 15 個の賞を獲った『手のひらのパズル』に続き LGBTQ をテーマにした作品は 2 作品目となる。主人公はトランスジェンダー当事者限定の一般公募オーディションで選ばれた、演技未経験のトランスジェンダー当事者、合田貴将が演じる。

◇合田 貴将（ごうだ たかゆき）氏 プロフィール

トランスジェンダー男性／1993 年生まれ（32 歳）

オーディションで選ばれたトランスジェンダー当事者。芝居経験はなし。

成城大学文芸学部英文学科 2016 年卒業。

職務経歴：

2017 年 4 月 国内大手証券株式会社入社

2022 年 11 月 国内大手証券株式会社退社

2022 年 11 月 不動産エージェントへ転職

2024 年 7 月 LGBTQ+向けの不動産仲介サービス「Borderless 不動産」を運営



◇黒川 鮎美（くろかわ あゆみ）氏 プロフィール

1985 年生まれ。京都出身。俳優兼映画監督。

2022 年、初監督作品『手のひらのパズル』を完成させ、2023 年興行を実施。

現在、Amazon プライム・U-NEXT にて配信中。

2024 年 1 月、株式会社 BAMIRI を設立。

同年 11 月に池袋シネマ・ロサにて『息子と呼ぶ日まで』をメイン作品とした、

多様性がテーマの短編映画を集めた興行イベントを実施。



◇五十嵐 ゆり（いがらし ゆり）氏 プロフィール

1973 年東京都生まれ。

2012 年、LGBTQ 支援団体 Rainbow Soup を発足し、情報発信や啓発活動に関わる。

2018 年、レインボーノッツ合同会社を設立し、レズビアン当事者としての経験や最新情報などをベースに、企業・自治体の SOGI・LGBTQ+ 施策支援・社外相談窓口対応を展開。

2019 年～2022 年、一社 LGBT 法連合会理事を務め、各地の団体と連携しながらアドボカシー活動に関わる。

2023 年 4 月より NPO 法人プライドハウス東京共同代表、

2025 年 4 月より同団体の代表理事に就任。筑紫女学園大学非常勤講師。



成城学園砦移転事業 – これからもまちとともに –

2025 年、成城学園は現在の地に移転して 100 周年を迎えました。成城学園とまちに関するトリビアを楽しみながらご覧いただける「成城学園砦移転 100 周年事業 – これからもまちとともに –」特設サイトを公開中です。成城学園の施設を活用した様々な移転 100 周年行事を企画しており、関連ニュースもこちらのサイトで発信しています。
(<https://www.seijogakuen.ed.jp/iten100th/>)